



Arima High School

有馬から世界へ

Atherton High School

Dong Won High School





秋になると黄金色の稲に囲まれる有馬高校

有馬から世界へ

有馬高校では長い間、国際理解教育、多文化共生教育を積極的に推進してきました。こうした教育環境のもと2008年にはAssisted Schools Project（ユネスコスクール）に加盟し、以後、国内外のユネスコスクールと協働で様々なプログラムを積極的に実施してきました。また、1993年の外国語コースの設置後、1998年に、アメリカのクラウンポイント高校が有馬高校における姉妹校交流の始まりとなりました。クラウンポイント高校とは2012年までの長い間交流を続け、現在は、アメリカケンタッキー州のアサトン高校と韓国慶尚南道のドンウォン高校と姉妹校協定を結び、隔年で受け入れと派遣を行っています。



国際交流・異文化理解

アサトン高校へは派遣時は夏休みを利用して約15名の生徒が10日間ほどの日程でホームステイを行います。アサトン高校では現地の授業に参加します。日本語の授業にも参加し、日本の文化や風習を紹介する活動も行います。

受け入れ時は本校の生徒がホストとなり、1週間授業と一緒に参加します。ホストとなる生徒だけでなく、クラスメートやほかのクラスの生徒も積極的に話しかけ、受け入れを楽しみつつ、交流を深めています。

ドンウォン高校とは2016年に姉妹校協定を締結しました。

派遣時は夏休みを利用して約15名の生徒が3日間ほどの日程で訪問します。そのうち1日はドンウォン高校を訪問し、お互いの文化を体験して交流を深めます。残りの2日間は釜山市内での研修や現地大学生との自主行動などで現地の文化を体験します。

受け入れ時は1日で、授業参加と歓迎セレモニーを行います。また、昼食時に自由参加の交流会を行うなどします。1日だけですが、お互いの連絡先を交換して、その後も交流を続ける生徒もいます。

"韓国での高校生活、ホームステイ体験など、有馬高校に入学しなければできなかったことばかりの7日間でした。自分の将来のための貴重な経験になりました。"

-ドンウォン姉妹校交流参加者 3年女子

アサトン高校生徒の浴衣体験



unesco

Member of
the Associated Schools
Network